

議会だより

かみやま

第 36 号

2018. 3. 15

12月定例会



<下分保育所クリスマス会を楽しむ子どもたち>

町長からの行政報告	4 頁
平成29年度補正予算	5 ~ 6 頁
12月定例会 一般質問	7 ~ 11 頁

ご挨拶



梅の花の蕾もふくらみ初春となりましたが、まだまだ寒い日が続いています。

さて、1月19日の臨時議会におきまして議員各位のご支持を賜り議長に就任いたしました。

もとより、浅学菲才でございますが、神山町発展の為に尽力してまいります。

過疎化、少子高齢化が進む本町であり、地方創生事業のトップランナーとして日本各地から視察者が多数訪れています。

しかし、農林業の振興、高齢者福祉、若者定住住宅の建設、保育と教育振興等々課題が山積しております。

この様な状況の中、執行部と議決権を持つ議会が相互の権限を尊重し、協力して本町発展に寄与して参りたいと存じます。

皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

新体制が決まる

平成30年1月19日に開催された平成30年神山町議会第1回臨時会において、議長・副議長・常任委員等の議会構成が決まった。

町長提案の議会選出監査委員は河野雅俊議員に決まった。

それぞれの役員の任期は、条例及び議会申し合わせによる2年としている。

新しい議会構成

議長	細井成富																																										
副議長	中西富士男																																										
常任委員会	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">総務文教</td> <td>委員長</td> <td>相原浩志</td> <td rowspan="2">委員</td> <td>森西</td> <td>本崎</td> <td>吉哲</td> <td>治夫</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>中西富士男</td> <td>細</td> <td>井</td> <td>成</td> <td>富</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">産業建設厚生</td> <td>委員長</td> <td>高橋和男</td> <td rowspan="2">委員</td> <td>新佐</td> <td>居出</td> <td>榮由</td> <td>二恵</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>樫本雄一</td> <td>河</td> <td>野</td> <td>雅</td> <td>俊</td> </tr> </table>	総務文教	委員長	相原浩志	委員	森西	本崎	吉哲	治夫	副委員長	中西富士男	細	井	成	富	産業建設厚生	委員長	高橋和男	委員	新佐	居出	榮由	二恵	副委員長	樫本雄一	河	野	雅	俊														
	総務文教		委員長	相原浩志		委員	森西	本崎	吉哲	治夫																																	
		副委員長	中西富士男	細	井		成	富																																			
	産業建設厚生	委員長	高橋和男	委員	新佐	居出	榮由	二恵																																			
副委員長		樫本雄一	河		野	雅	俊																																				
議会運営委員会	<table border="1"> <tr> <td>委員長</td> <td>相原浩志</td> <td rowspan="2">委員</td> <td>細</td> <td>井</td> <td>成</td> <td>富</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>高橋和男</td> <td>中</td> <td>西</td> <td>富</td> <td>士</td> </tr> </table>	委員長	相原浩志	委員	細	井	成	富	副委員長	高橋和男	中	西	富	士																													
委員長	相原浩志	委員	細		井	成	富																																				
副委員長	高橋和男		中	西	富	士																																					
特別委員会	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">幹線道路改良整備</td> <td>委員長</td> <td>佐出由恵</td> <td rowspan="2">委員</td> <td>森相</td> <td>本原</td> <td>吉浩</td> <td>治志</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>河野雅俊</td> <td>細</td> <td>井</td> <td>成</td> <td>富</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">国道改良整備促進</td> <td>委員長</td> <td>高橋和男</td> <td rowspan="2">委員</td> <td>樫西</td> <td>本崎</td> <td>雄哲</td> <td>一夫</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>新居榮二</td> <td>中</td> <td>西</td> <td>富</td> <td>士</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">議会広報調査</td> <td>委員長</td> <td>中西富士男</td> <td rowspan="2">委員</td> <td>細</td> <td>井</td> <td>成</td> <td>富</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>森本吉治</td> <td>佐</td> <td>野</td> <td>由</td> <td>雅</td> </tr> </table>	幹線道路改良整備	委員長	佐出由恵	委員	森相	本原	吉浩	治志	副委員長	河野雅俊	細	井	成	富	国道改良整備促進	委員長	高橋和男	委員	樫西	本崎	雄哲	一夫	副委員長	新居榮二	中	西	富	士	議会広報調査	委員長	中西富士男	委員	細	井	成	富	副委員長	森本吉治	佐	野	由	雅
	幹線道路改良整備		委員長	佐出由恵		委員	森相	本原	吉浩	治志																																	
		副委員長	河野雅俊	細	井		成	富																																			
	国道改良整備促進	委員長	高橋和男	委員	樫西	本崎	雄哲	一夫																																			
		副委員長	新居榮二		中	西	富	士																																			
	議会広報調査	委員長	中西富士男	委員	細	井	成	富																																			
副委員長		森本吉治	佐		野	由	雅																																				
監査委員	河野雅俊																																										

名西消防組合議員	中西富士男（副議長） 細井成富（監査委員） 樫本雄一 相原浩志 高橋和男
----------	---

12月定例会は、平成29年12月7日から15日まで9日間の会期で開催した。提出議案は平成29年度一般会計等補正予算2件、条例の一部改正4件、その他2件、議員発議案3件を審議し、すべて可決した。

一般質問では5議員が登壇し（7～11ページに掲載）それぞれ町の考えを質問した。

日	平成29年12月定例会議案事項	掲載頁
第1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸報告 ・ 町長から行政等報告 ・ 平成29年度神山町一般会計補正予算（第5号） 【上程】 ・ 平成29年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 【上程】 ・ 町長等の給与に関する条例等の一部改正 【上程】 ・ 職員の給与に関する条例の一部改正 【上程】 ・ 職員の育児休業等に関する条例の一部改正 【上程】 ・ 神山町税条例の一部改正 【上程】 ・ 徳島県市町村総合事務組合規約の一部改正 【上程】 ・ 指定管理者の指定 【上程】 	4～6頁
第2日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員派遣について 【上程】 【可決】 ・ 町内視察 	12頁
第7日	一般質問 西崎哲夫議員 佐出由恵議員 細井成富議員 新居榮二議員 河野雅俊議員	7～11頁
第8日	保留議案の審議（予算） <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度神山町一般会計補正予算（第5号） 【審議】 【可決】 ・ 平成29年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 【審議】 【可決】 	5～6頁
	保留議案の審議（条例の改正等） <ul style="list-style-type: none"> ・ 町長等の給与に関する条例等の一部改正 【審議】 【可決】 ・ 職員の給与に関する条例の一部改正 【審議】 【可決】 ・ 職員の育児休業等に関する条例の一部改正 【審議】 【可決】 ・ 神山町税条例の一部改正 【審議】 【可決】 ・ 徳島県市町村総合事務組合規約の一部改正 【審議】 【可決】 	5～6頁
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者の指定 【審議】 【可決】 	6頁
	追加議案 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事請負契約の締結について 2件 【上程】 【審議】 【可決】 ・ 工事請負変更契約の締結について 1件 【上程】 【審議】 【可決】 	5～6頁
	議員発議案 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路財特法における補助等の嵩上げ措置の継続を求める意見書 【上程】 【可決】 ・ その他（議員派遣・委員会の閉会中の継続調査） 【上程】 【可決】 	

※第5日、第7日、第8日は議事の都合、第3日、第4日は休日により休会とした。

町長の行政報告

12月定例会に先立ち、行政報告が行われた。

自治功労表彰を受賞する

11月20日東京国際フォーラムで開催された、地方自治法施行70周年記念式典において、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、神山町は自治功労表彰を受賞した。今後とも先を見据えた歩みを進めていく覚悟である。

全国町村長大会にて要望

11月29日開催の全国町村長大会がNHKホールで開催され、地方交付税等の一般財源総額を確保すること、参議院の合区を早急に解消すること、また全国森林環境税の早期実現等県選出国會議員に要望致したところである。

4K徳島映画祭が神山で開催

11月25、26日、寄井商店街、神山分校、寄井座、商工会等で開催され、全国から120点の

作品が寄せられた。人出も前回よりも多かつたように思われ、回を追うごとに活況を呈し、ひいては神山町の発展につながる事を望みたい。

移住交流支援センター

本町では子育て世代の施策、地方創生関連の施策を実施したことから、この10年で205名の方が移住交流支援センターを介して転入していただいている。移住された方で地域のボランティア活動に積極的にされる方もおられ、今年度の新規消

団員の入団は21名で、内半数以上の12名が移住された方となっており、非常に有難く感謝している。

一般会計補正予算

林業費

林道倉羅川井峠線の県単事業の追加内示あり、必要経費を計上。

土木費

町道の支障木の伐採委託を2箇所。県単急傾斜地崩壊対策事業の3箇所の予算を計上。

災害復旧費

国費対象の農地災害関連で台風18号、21号により被災した農地4箇所。町単独事業として農地などの10箇所の事業費を計上。

公共土木災害関連の国費対象事業で町道など16箇所、町の単独事業として町道など20箇所の事業予算を計上。

町内バスツアーの現状

町内で行われている地方創生事業サテライトオフィス等の現



バスツアー

状を見ていただき理解を深めて頂く町内バスツアーを行っていらっしゃる。11月末までで、20回延べ238名の参加をいただいた。今後もツアーの内容、中身も充実するよう検討を加えて参りたいと考えている。

地方交付税が2年間で大幅減

人口が減少したことにより地方交付税が1億2000万円（2年間で）減額となった。限られた財源を有効に活用しているかねばと考えている。



4K映画祭

補正予算・条例改正・その他

平成29年度補正予算

一般会計（第5号）	補正額	1億8599万円（48億8318万円）
国民健康保険特別会計（第3号）	補正額	66万円（11億126万円）

予算合計	補正額	1億8665万円（59億8444万円）
------	-----	---------------------

（ ）は予算総額

平成29年度補正予算・条例改正・請負契約締結等の主な内容	
総務課	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 平成29年度一般会計補正予算（第5号） <ul style="list-style-type: none"> ・フロン漏えい点検等委託料 25万円 ・重機等借上料 14万円 ・防災行政無線管理需用費 50万円 ◎ 条例一部改正 <ul style="list-style-type: none"> ・町長等の給与に関する条例等の一部改正について ・職員の給与に関する条例の一部改正について ・職員の育児休業等に関する条例の一部改正について ・徳島県市町村総合事務組合理約の一部改正について ◎ 請負変更契約締結 <ul style="list-style-type: none"> ・大埜地集合住宅 基盤整備工事請負変更契約の締結について 変更内容・請負契約中「3. 契約金額60,372,000円うち取引に係る消費税及び地方消費税の額4,472,000円」を「3. 契約金額74,045,454円うち取引に係る消費税及び地方消費税の額5,484,848円」に改める。
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 平成29年度一般会計補正予算（第5号） <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険特別会計繰出金 66万円 ◎平成29年度国民健康保険特別会計（第3号） ◎条例一部改正 <ul style="list-style-type: none"> ・税条例の一部改正について
健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 平成29年度一般会計補正予算（第5号） <ul style="list-style-type: none"> ・臨時福祉給付費事務費補助金償還金 41万円 ・児童手当交付金過誤納償還金 286万円 ・放課後児童クラブ運営委託料 80万円
産業観光課	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 平成29年度一般会計補正予算（第5号） <ul style="list-style-type: none"> ・すだち消費宣伝用果実代 20万円 ・有害鳥獣駆除報償金 150万円

平成29年度補正予算・条例改正・請負契約締結等の主な内容

建設課	◎ 平成29年度一般会計補正予算（第5号）	
	・ 県単林道工事	400万円
	・ 支障木伐採委託料	200万円
	・ 県単急傾斜地崩壊対策工事	1490万円
	・ 現年発生農地農業用施設災害復旧工事	1000万円
	・ 現年発生農地農業用施設単独災害復旧工事	400万円
	・ 現年発生公共土木施設災害復旧工事	1億2530万円
	・ 現年発生公共土木施設単独災害復旧工事	1200万円
	◎ 請負契約締結	
	・ 平成29年度林道施設災害復旧事業（平成29年8月6日から7日にかけての台風5号災害）柴小屋線1号箇所工事請負契約の締結について 工事箇所 神領字南野間 工事金額…52,596,000円うち取引に係る消費税及び地方消費税の額	3,896,000円
	・ 平成29年度林道施設災害復旧事業（平成29年6月20日から9月19日までの地すべり災害）神通線1号箇所工事請負契約の締結について 工事箇所 上分字中津 工事金額…58,752,000円うち取引に係る消費税及び地方消費税の額	4,352,000円
教育委員会	◎ 平成29年度一般会計補正予算（第5号）	
	・ 学校管理光熱水費	120万円
	・ 学校管理修繕料	70万円
	◎ 指定管理者の指定（神山町基幹集落センター・上分公民館） 有限会社 西森組（神山町上分字川又西）	

消防議会

名西消防組合定例議会

平成29年度第2回定例議会は12月20日神山町役場議場で開催した。

本定例議会では議案4件を審議し、原案どおり可決した。

議案第6号

徳島県市町村総合事務組合規約の変更について

議案第7号

名西消防組合職員の給与に関する条例の一部改正について

議案第8号

平成28年度名西消防組合一般会計歳入歳出決算認定について

歳入総額	5億4863万円
歳出総額	5億3527万円
差引き額	1336万円

議案第9号

平成29年度名西消防組合一般

会計補正予算（第1号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8、583千円を追加し、予算の総額を4億5691万円とした。

平成29年神山町議会

第1回臨時会

第1回臨時会は平成29年11月10日に開催した。

◎ 第66号専決第7号 平成29年度神山町一般会計補正予算（第4号）について

◎ 第67号 財産の取得について
大埜地集合住宅 N—3棟用
木材購入

◎ 第68号 財産の取得について
大埜地集合住宅 C—3棟用
木材購入



一般質問



西崎哲夫 議員

①業務委託、施設管理委託の基本的な考え方について ②町道の車輛運行や視界の支障木の除去について

である。こうした背景をふまえて、本町では行政改革大綱に基づいて、外部委託出来るもの、すべきもの等には継続的にやってきたと思う。今後、議会に提案中の上分公民館の管理委託、又ゴミの収集も民間委託していきたいと思ってる。出来るだけこの試みが各地区に及ぶよう、皆様方や地域の方々との理解と協力が必須案件なのでこれを展開していきたい。

答弁（総務課長）

(イ) 職員の月最長残業時間は、60時間程度となっている。その中で40時間を超える者と所属長に対して、副町長、総務課長がヒアリングを行い、業務内容の把握や業務の効率化や見直し等を実施している。

質問②

町道網の中で点々と在る小規

模な支障木の除去について。この問題は町道開削以来受益者である地域集落住民が、その都度当り前の様に対応してきた。しかし集落住民の急速な過疎と高齢化（ほとんどが後期高齢者）で後継世代もなく、対応しようにも出来ない深刻な現状である。今迄の地域集落対応から積極的な行政対応の転換が急務でないか。

答弁（建設課長）

この課題については、平成25年度より、伐採委託事業を実施している。平成25年度1ヶ所、26年度2ヶ所、27年度2ヶ所、28年度1ヶ所、本年度3ヶ所で土木業者に委託している。地域の弱体化は議員のいわれるとおりで、地域から要望があれば予算の範囲で又要望があれば補正で対応していきたい。又、草刈、町道の縁の草刈については、最近地元対応出来ないというのがあってシルバー人材センターとか行政対応が多くなってきている。地元からの事情等を聞いて行政で対応してまいりたい。



来年度より指定管理施設となる上分公民館



町道 横倉線

質問①

(イ) 働き方改革で残業上限規制や同一業務同一賃金の実現に向け、これが活性化されること。2019年4月より実施されること。町職員の臨時雇用制限や、業務量の増加複雑化も課題としてあると考えるが、そうした背景をふまえ、業務の外部委託や施設の管理委託は先送り出来ない課題ではないか。

(ロ) 参考として、本町行政職員の時間外勤務の最長、平均を示してほしい。

答弁（町長）

(イ) 地方公務員法、地方自治法、労働基準法の一部改正の実施については質問のとおり

一般質問



佐出由恵 議員

① 神山消防団広野分団第1部の消防詰所の建設工事について ② 町道日浦福原線等について

再問

歯ノ辻地区の「高瀬」には2ヶ所の集会所があるが、「歯ノ辻」には集会所が無い。9月に徳島県より急傾斜地の説明会があり、「歯ノ辻」地区でも土砂災害の危険性の有る場所が示されたが、「対策は早めに避難して」とのことだったが、自動車を持たない高齢の方が広野公民館へ歩いて避難するのは不可能であり、南行者野の集会所は増水時には不適當なので、新築される消防詰所が集会所や

避難所として使用可能かどうか。

答弁（総務課長）

消防詰所は消防格納庫として建築する予定だが、集会所としては、地元の部と相談し消防活動に支障がなく都合があればということと理解願いたい。避難所として指定はしてない、鉄骨造りのため頑丈なので一時的な緊急避難所として使用可能と考えられる。機能不足や管理運営上の支障も考えられるので、出来るだけ早めの指定避難場所への移動をお願いしたい。

質問②

台風21号の被害により鬼籠野日浦地区で通行止めとなっており、迂回路や携帯電話や高压電線の鉄塔の維持管理には必要な路線となっているが、一部未舗装となっている。今後舗装工事の予定はどうか。

答弁（建設課長）

福原側で砂利道が残っているが、舗装の予定はない。

再問

迂回路としてもライフラインの維持管理にも必要な道路なので舗装工事を行うよう要望する。また、上分地区でも国道が通行止めとなったが町道が迂回路となったと聞いている。迂回路として機能する町道は整備していくのどうか。

答弁（建設課長）

現在、町道は、360路線499kmあり、生活道でない山間部の道路は普段の整備ができてない町道があり、年間を通じて全ての道路を維持することは大変なことである。迂回路として必要となった場合は優先して路面整地等を行い迂回路として利用できるように対応する。

再問

一度に整備するのは不可能なので計画的に整備し、町民の皆さんが安心して暮らせるよう希望する。



未舗装区間



詰所予定地



現消防詰所

質問①

広野分団第1部消防詰所の建設のために歯ノ辻団地の解体工事が行われているが、今後の工事予定はどのようになっているのか。

答弁（総務課長）

今年度中に取り壊す。現在、設計段階で来年度に建築を予定している。

一般質問



細井成富 議員

質問①

児童生徒の教育と地方創生事業両面に於いて、デュアルスクールへの導入が有効である。まず、教育面から見ますと、地方と都市双方の違った文化や環境を小中学生の多感な時期に経験することにより、人間性豊かな多面的な思考を持った人材育成にも寄与するのではないかと。デュアルスクールについて教育長はどのように考えているか。

答弁（教育長）

神山と都市双方の違った環境を経験することによる人材育成や町内への移住に繋がり、地方創生事業に寄与する。神山町に於いても、積極的に取り組んでいきたい。

①デュアルスクールを導入できないか ②害獣の駆除

再問

地方創生事業の面からみると都市から町内の小中学校に転校することにより、移住を考えている家族がスムーズに町内へ移住出来るのではないかと期待します。結果として地方創生事業の進展にも繋がる施策である。この点について、町長はどのようにお考えか

答弁（町長）

一つの手段としては有効である。問題は、神山町に住みたく、空き家を待っている方が200世帯程いる。地方創生事業で住宅施策を展開中である。ハード整備をやらないとこの制度もやりづらい。

再問

町内には空き校舎がある。特に、前の広野小学校の空き校舎を利用して一時的に住んでいた

だく方法もある。移住ということとは他の市町村との人口の取り合いである。いいことはほとんど取り入れていただきたい。

質問②

害獣の被害が年々増加の一途をたどっている。害獣の駆除、期間、報償金、その他施策とこれからの方向性について説明を求めます。

答弁（産業観光課長）

捕獲許可は被害が発生することを前提に、予察捕獲として許可を出している。ニホンジカは県の個体数調整に基づき捕獲。駆除班員による有害駆除の期間は、昨年度まで4月上旬から11月中旬までと狩猟後の3月下旬について捕獲許可を出して報償金を支出した。狩猟期間については報償金の対象外。今年度は狩猟期間中も狩猟鳥獣であるニ

ホンジカ及び小動物、カワウ、カラス等を報償金の対象として捕獲許可を出している。駆除の報償金は有害駆除捕獲班員に支出している。捕獲班員の資格は県から示された要領に、「地元猟友会に所属し」とある。神山地区猟友会に所属することが前提である。今年度からの狩猟中の報償金をニホンジカは5000円とした。全体の駆除報奨金は、11月末で約640万円を支出している。

町の今後の施策は、防護柵設置、追払い、捕獲。防護柵等の設置は町単独事業による資材費の半額補助。陰切りや狩猟免許の取得費用の補助。報償金の対象鳥獣の種類は県内で1番多いほう。今後も継続して集落が維持できるように鳥獣被害に対する支援を行いたい。

再問

詳しく説明していただきよくわかった。今後、変更点があれば広報等で出来るだけ早く住民に周知して頂きたい。

一般質問



新居榮二 議員

① 神領青井夫の残土処理場について

答弁（建設課長）

公共残土処理場が満杯状態になっており大規模災害等が発生すると残土処理場が必要になり、なるべく早く運用できるように努力したい。

質問②

近隣住民の承諾の話はできているのか。

答弁（建設課長）

平成26年開始予定でしたが近隣住民の承諾書はいらませんが地域の理解等得ることが残土処理場運営に必要と思われたので今までになっている。

質問③

面積はどの位で購入金額は

答弁（建設課長）

購入面積は農地が5665平方メートルと山林が4621平方メートルで、買収金額につき

ましては26年度歳入歳出決算主要事項説明書に記載してありますのでご覧いただきたい。

質問④

残土処理場としていつ使用できるのか。

答弁（建設課長）

目途は今立っておりませんが一日も早く開始できるように努力する。

質問⑤

上下流域に被害を及ぼさないのか。残土処理場を進めるに当たって地元住民に埋め立て計画を何回説明会を開催したか。

答弁（建設課長）

上下流へ影響を及ぼさないよう設計をしている。また、盛土の安定を図り、土砂の流出を防ぐ

など、安全性には十分配慮している。
地元住民の説明については施工前には地元への説明会等はない。

再問

町が計画した残土処理場が、原野になり竹が生い茂っている。もう少し手入れをして近隣住民の安全、安心を確保していただきたい。

質問①

近年農地の放棄地が全国的に増しており、徳島県内はもちろん同様当神山町でも少子高齢化の波が押し寄せ毎年放棄地は増えているのが事実であり農業に興味がないと言うか魅力がないのわかるが跡取りが他の職業に就職するのも事実である。

神山町が農地を購入した件について今年7月から農業委員会と推進委員と新制度で発足した、放棄地解消に向け努力しているのに現状は荒廃地になり鳥獣害の住み家になっており早急に対応すべきである。今後町としてどのような計画推進等準備しているのか。



青井夫残土処理場

一般質問



河野雅俊 議員

質問

神山町内に廃校になっている6校の各地域の廃校舎の現状と、今後の維持及び活用等の町の考えは。

答弁（教育次長）

廃校校舎の現状は、以前よりほとんどの廃校校舎は、地域で活動している団体や役場関係の備品の保管場所としての利用や地域の団体の作業場所として利用をされている。左右内小学校の校舎は、左右内公民館として、地域の行事や踊りの練習などにも利用されている。

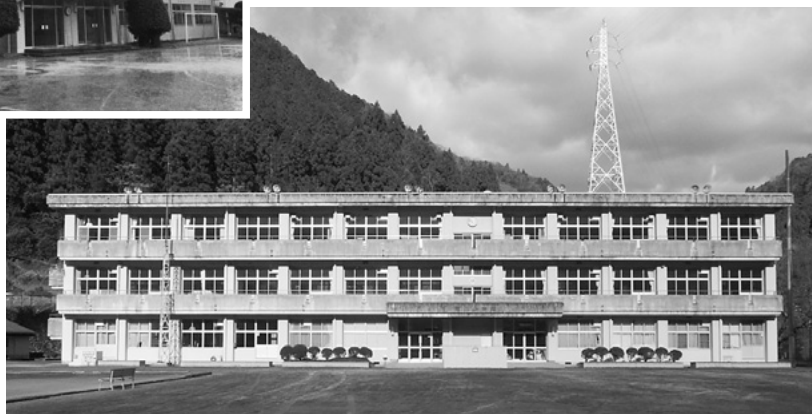
今後の維持及び活用は、阿川小学校の校舎だけは昭和56年5月以降の新耐震基準で建築され

① 廃校について

ているが、最近言われている非構造部材の落下防止対策は実施されていない。そのことから、長期的に施設を使用するといったことは難しいと考える。今後も今の現状のとおり、地域での活動場所や備品の保管場所といった利用になるものと考える。旧広野小学校の校舎は、まだ広野小学校の校舎としての位置づけとなっており、廃校校舎にはなっていないが、今後の利用は、校舎を生かすようにしていきたい。



廃校校舎
(鬼籠野小学校)



廃校校舎（阿川小学校）

議会を傍聴しませんか！

皆さんが選んだ代表が議場でどんな発言をしているのかお確かめ下さい。

どうぞお気軽にお越し下さい。定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）に開かれます。日程・手続き等は議会事務局へお問い合わせ下さい。

神山町議会事務局 TEL 676-1511 (IP2002)

議員研修

町内バスツアーを体験して

12月定例会第2日目に、町内視察として町内バスツアーを実施した。

この企画は、最近の神山には、転入者やサテライトオフィスの開設に伴い、宿泊施設やレストラン、靴屋、惣菜屋など新しいお店や施設が生まれており、そうした新しい動きの中で、どんな人がどんな思いを持



議員研修（町内バスツアー）

ち神山で働いているのか、理解を促すため行われている。昨年10月第1回を始め今回で22回開催されており、神山町役場総務課を窓口にし「神山のいまを訪れて・見て・感じる、町民・町内バスツアー」である。

出発前に事務局より日程の案内があり参加者全員から、本日の感想を発表し出発した。

一番に神領上角の「しずく工房」、続いて「しずくギャラリーショップ」を訪問し工場、商品の説明を受けた。この様な運びで「里山みらい」上分の「カフェブロンプトンデボ」でカレー、ピザ、ドリンクを昼食としてとり「こんまい屋」下分の「コンプレックス」寄井の「リヒトリヒト」と7ヶ所訪問した。

ツアー後の声として、再度集合して体験した一日の思いを全員が発表し、外から来ている人たちに一線をひいていただけだと、今日話をして、身近に感じられた。色々な会社や商店ができたことは聞いていたが、中身

については想像の域を出なかつた。しかし今日見せていただいた知識が広がった。などといった感想があり町内視察を終了した。

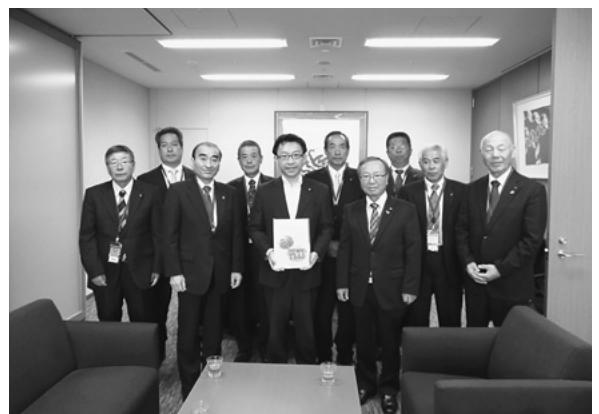
皆さんも体験してはいかがですか。詳しくは、神山町役場総務課（担当 馬場達郎）

（中西富士男）

国等へ要望活動

—倉羅トンネルの早期実現、行者野橋の架け替え等を含め予算配分総枠の拡大を求め—

11月13日、議員8名と後藤町長と共に、国土交通省、徳島県選出国会議員へ国道193号倉羅トンネルの早期完成、県道神山国府線行者野橋架け替えを含む道路予算の重点配分等について、徳島県東京事務所と後藤田衆議院議員に案内をいただき、国土交通省技監、道路局長、道路局次長、大臣官房審議官、国道防災課長に要望書を添え早期完成と採択を要望した。



国等への要望活動（県選出国会議員への要望）

その後、衆参両議院議員会館の県選出国会議員事務所を訪れ要望への支援をお願いした。

（榎本雄一）

陳情&視察2日目レポート

11月14日 陳情2日目は築地市場を議員8名と事務局1名で視察。東京シティ青果株式会社取締役野菜副本部長細野平一氏と井岡毅志部長より築地市場の概要と野菜価格の推移、神山町特産すだちの販売状況について説明をして頂いた。

築地市場は、水産物、青果物

を取り扱う市場で、我が国の建値市場としての役割を果たしている。(※建値市場とは、それ以外の市場で取引する参考となる価格を形成する力のある市場をいう)

昭和10年に開場して、既に81年が経過し施設の老朽化が著しく、平成13年に豊洲地区に移転することを決定した。

平成27年度取扱数量及び金額は。水産物では436、274トン、4、401億円、青果物では271、657トン、890億円となっている。



築地市場での研修

問題になっている豊洲市場へは平成28年4月1日現在の決定で仲卸業者の青果部101業者全員が豊洲へ移転する方針である。

野菜価格は「バブル」時の全ての野菜の平均単価が1kg当たり約300円であったが、現在は約200円となり、生産者に厳しい状況となっている。

神山町特産のすだちの消費はまだまだ伸びるとの説明であったが、その為には周年出荷が不可欠である。

また、東京都内の個性的なレストランでは、地方に少量しかない特徴のある食材を市場で探している。市場の方からこの様な隠れた食材も出荷を希望しているようであった。量が少ない為に市場に出回り難く、生産者も出荷を躊躇しているのではないかとの指摘があった。

個性的で少量の農産物であれば神山町内でも幾つかあるが、輸送経費を含めた採算が取れるか疑問であり今後の勉強課題で

ある。

近年の消費者ニーズは、忙しい現代人を反映して調理が簡単な野菜が好まれる傾向にある。この度の視察は、農林業が主産業の神山町にとって大変有意義であった。(細井成富)

**地方創生の実現を目指して
第61回町村議会議長全国大会**

全国町村議会議長会は、平成29年11月22日、東京のNHKホールにおいて、大島理森衆議院議長、小倉將信総務大臣政務官、唐澤剛地方創生総括官、竹下亘自由民主党総務会長、荒木泰臣全国町村会長のほか多数の国会議員の先生方のご臨席を得て、約1、800人の町村議会関係者が参加する「第61回町村議会議長全国大会」が開催され出席した。

始めに、川上守副会長(鳥取県若桜町議会議長)が開会のことばを述べた後、主催者を代表した挨拶のなかで、櫻井正人会

長(宮城県利府町議会議長)は、高知県大川村議会の「住民総会の設置検討」に象徴される「議員のなり手不足」について触れ、この問題には職業との両立、選挙制度の在り方、低額な議員報酬など制度的な問題と地域特有の事情が複雑に絡み合っており、簡単に答えを出せるものではないが、本会としては、現状をしつかりと分析したうえで、



町村議会議長会全国大会の様子



町村議会議員全国大会会場（NHKホール）

地方議会議員の位置づけの明確化、人材確保のための環境整備、地方議会議員の厚生年金制度への加入などあらゆる側面から打開策を探っていく、との方向性を示した。

次に、杉浦和人副会長（滋賀県日野町議会議長）が、大会の意義を鮮明にするための宣言文

を読み上げると、それに賛同する満場の拍手が会場を包んだ。

次に、特別国会対応のため出席が叶わなかった安倍晋三内閣総理大臣から寄せられた祝辞を櫻井会長が披露した。安倍総理大臣からは、「地方創生に向けた町村の挑戦に対して、引き続き『地方の声に徹底して耳を傾ける』という姿勢で積極的に支援していく。」との心強いお言葉をいただいた。

議事に入るにあたり、規約の定めに従い大会出席者の中から、川村雅士高知県土佐町議会議長、土屋博東京都八丈町議会議長、米山千晴静岡県小山町議会議長の3名を議長団に選出した。

議事は、はじめに平成30年度の国の予算編成対策として、「東日本大震災及び熊本地震からの復旧・復興と大

規模災害対策の確立」など要望35件（地区要望9件を含む）、町村議会議員のなり手不足対策として「地方議会議員の位置付けの明確化」など重点要望4件を本大会に提案することを飯沼満理事（岐阜県神戸町議会議長）が説明し、これを満場一致で決定した。

また、緊急かつ重要な課題として解決を図る必要がある「東日本大震災及び熊本地震からの復旧・復興と大規模災害対策の確立に関する特別決議」「地方創生のさらなる推進に関する特別決議」「町村税財源の充実強化に関する特別決議」「参議院選挙における合区の解消に関する特別決議」及び「地方議会議員の厚生年金制度への加入実現を求める特別決議」の5つの案件については特別決議として満場一致で決定した。

大会終了後、元総務大臣・増田寛也氏による特別講演「地方自治を実り豊かに」が行われ、聴講した。（榎本雄一）

トップマネジメント セミナーに参加して

平成29年11月20日～21日、滋賀県大津市唐崎二丁目、全国市町村国際文化研修所にて、「災害対応力の強化に向けて」に参加して

元消防庁長官 坂本森男

（最近の災害事例とその対応）

平成26年8月20日未明、広島市安佐北区、安佐南区において166箇所で大規模な土砂崩れが発生。土砂崩れにより多くの土砂や瓦礫が堆積し、さらに夏期の高湿多湿な気候も相まって過酷な災害現場であり、特に水陸両用バギーが便利であったとのこと。今年7月の九州北部豪雨では、積乱雲が次々と発生し連なる状況（線状降水帯）となり、24時間に福岡県朝倉市で545・5ミリ、大分県日田市で370ミリを観測（いずれも観測史上1位、7月1ヶ月間の

平均雨量を超える) するなど、記録的な大雨が発生。平成26年11月22日長野県北部地震発生では、震度6弱。特徴的な活動では、災害初期において、地域の共助と消防団の活躍で、各家の状態を知りえていて、一人の死者も出さなかったことで「白馬の奇跡」とも呼ばれた。

熊本市政策局危機管理監 井上 学 (熊本地震の行政対応)

2016年4月14日21時26分前震に続き、16日1時25分本震と、震度7の地震が立て続けに2回発生(観測史上初)など、震度6弱以上の地震が7回発生(観測史上初)し、全職員初めて経験する事態に動揺した。

職員の安否不明、参集状況もよくわからない・次から次へ殺到する電話対応でパンク状態・役に立たない対応マニュアル・避難所となる学校体育館(25箇所)が被災し開設できない等。

復興に向けて【災害時に欠かすことができない 三助】・自

分の身は、自分で守る・一大事は、みんなで助けあう・市役所は、被災者の救助、支援を3日間特に励むこと。しかし、三助それぞれにも限界がある。キーワードは「市民・地域・行政の力を結集」 1、被災者「何でも受け入れてはだめ！」

2、支援者「先方の意向を確認してから支援する」 3、支援物資は有料と思え! 災害救助法が適用になっても対象外があるので要注意! 4、「指定管理制度」契約の見直し、災害時の特記事項を明記しておくこと 5、「遊軍」「動かない責任者」が必要、自衛隊や消防などの指揮命令系統を見習う。

1、災害は、起こるものだと思え(職員、市民も研修、訓練) 2、時代の変化への対応(情報リテラシー、新しい技術への対応と活用ダイバーシティ等) 3、職員の対応力 防災計画を大事にすること!!

京都大学防災研究所 社会防災部門
都市防災計画研究分野教授 牧 紀男

自治体の危機管理

(組織体制、状況認識の統一)

○危機とは、何か
1、予想外の出来事
2、悪い結果をもたらす出来事
3、業務を中断しても対応する出来事

4、組織全体としての対応を必要とする出来事

人は危機に直面すると、普段やっていることしかできない 普段やっていることも満足にできない 普段やっていないことは、絶対にできない
○危機対応とはなにか・新しい現実を効率的に把握し・関係機関間で情報を共有し・統一された状況認識(COP)に基づき適切な意志決定を行う
一人のリーダーは、3人〜7人だけを指揮すること

関西大学社会安全学部
特別任命教授 河田恵昭

(災害対応力の強化)

自治体の災害対応能力とは

・知事、市町村長のリーダーシップ・職員の資質、防災担当職員の研修、訓練・地域防災計画を初めとする法制度・防災戦略アクションプログラム・危機管理システムなどのツール・公共事業への累積投資額・職員の絶対数・地域の高齢化率などの社会の防災力
時代が進むと、社会も進化し、被害の出方や内容も変わる。
我が国の災害対策基本法は間尺に合わなくなっている(貧しい時代の法律)。

私たちは、問題解決能力を向上するように教育されてきた。しかし、防災、減災、縮災は、そう簡単に解決する問題ではないので、どうすればよいか。解決方法は、簡単には見つからない。(答えの出ない事態に耐える力)
『人間には、答えの出ない 悲しみあり』と、最後に先生は、言葉を残された。(河野雅俊)

神山の風景

十二月十九日、第四十五回神山中学校立志式が行われました。

「立志式」とは満十四歳を迎えるのを機に、これから進む道について「志を立てる」誓いをし、大人になるための自覚を深める儀式です。

今回、立志式を迎えた二年生・二十三名は、「パティシエになって、おいしいお菓子をつくりたい。」
「介護士になって、人の役に立ちたい。」

など、思い思いに自分の将来の夢や希望を、保護者や来賓の皆さんの前で力強く宣言しました。



議会の動き

12月 20日 名西消防組合定例議会

1月 2日 神山町成人式

7日 神山町消防出初め式

18日 徳島県町村議会議長会臨時会

31日 徳島県市町村トップセミナー

2月 11日 近畿神山会総会

23日 徳島県町村監査委員協議会
定期総会

28日 阿北環境整備組合議会
下旬 議会運営委員会

3月 2日 徳島県町村議会議長会定期
総会

5日 勝名地区町村議会議員研修
会

上旬～中旬 3月定例会

9日 神山中学校卒業式

16日 町内小学校卒業式

編集後記

新年あけましておめでとうござ
います。

今年の干支は「戌」いぬ年に当
たります。

「子」ネズミから始まるのは、正
月に神様の所へ着いた順番と言わ
れています。ちなみに猫が干支に
入っていないのは、ネズミが猫に
神様に会う日を一日ずらして教え
ました。なので、猫は干支に入れ
ず、その恨みでネズミを見たら追
いかけて廻すそうです。

今年の冬は日本列島に大寒波が
押し寄せ各地で雪や強風による影
響で交通事故や、屋根の雪下ろし
作業中の転落事故など被害が続
出。県下ではインフルエンザが猛
威を振るい保育所、幼稚園、小中
学校で学級閉鎖が相次いでいます。

神山特産のすだちは不作の影響
で近年にない高値で取引されてい
ますが、この教訓を次年度に生か
すべく生産者、農協そして行政が
この状況を冷静に分析し、出荷調
整をしっかりとして有利販売に結び
付けることが肝要と考えます。

議会だよりもこのメンバーで最
後の発行となります。変わられる
編集委員、心からご苦労様でし
た。

(細井成富)